

“交通事故なし（ゼロ）運動” 初開催 「西尾梨」を食べて交通事故「なし」！！

8月3日、地元で採れた『西尾梨』のPRを兼ねて“交通事故なし（ゼロ）運動”を憩の農園で行います。JA西三河の主催で、新たな地域ブランド『西尾梨』の周知・地産地消による地域振興を図るとともに、市内で多発する高齢者の死亡事故に対する注意喚起を目的とします。また、啓発運動を通じてJAの自己改革方針でもある「安心して暮らせる地域づくり」を目指し、地域貢献に寄与します。

当日は、啓発資材や反射材の配布、西尾梨（幸水）の試食販売に加えて先着150名様へ無料配布を行います。

【開催日】 8月3日（金）
【時間】 午前10時～
【場所】 憩の農園 正面玄関付近
（西尾市斉藤町大割28）

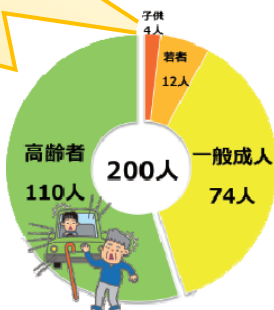
※西尾梨の無料配布は午前10時より行います。
※取材される報道機関の方は、JA西三河企画課の尾形までご連絡ください。
※雨天等天候不順の場合、行わない場合があります。
その場合には、事前に取材のご連絡を頂いた報道機関の方にはこちらからご連絡いたします。



高齢者の交通死亡事故多発を受けて、JAならではの啓発運動！

愛知県における平成29年中の交通事故死数は200人にのぼり、
そのうち約6割を占める110人が65歳以上の高齢者。
なかでも歩行者の事故が大半を占めており、
特に道路横断中に多発しています。

《愛知県HP参照》



年齢別交通事故死者数(平成29年)



※上記のPR資材等とあわせて、
組合員・利用者へ「西尾梨」を配布します

別紙の「西尾梨」へ名称変更しました！
もあわせてご覧ください。

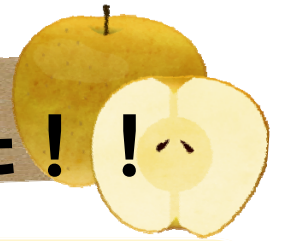


【お問い合わせ・ご連絡先】
JA西三河（西三河農業協同組合）
〒445-0073 愛知県西尾市寄住町下田15 企画室企画課 広報担当：尾形
TEL：0563-56-5214 担当者携帯：070-1414-6818
HP：http://www.ja-nishimikawa.or.jp/ Eメール：kikaku@ja-nishimikawa.com

※ このニュースリリースは、西尾市の記者室在籍報道機関あてに発出しています。
また、同内容をJA西三河ホームページの「報道機関向け資料（ニュースリリース）」ページにも掲載しています。

『三河梨』から

『西尾梨』へ名称変更しました！！



『西尾梨』へ名称を変更し、地産地消に全力

「西尾梨」へ名称変更することによって、産地化を見据えた地域ブランドの確立・消費者への訴求力向上を期待。また他産地との差別化を図り、付加価値を高めることによって、農家所得向上につながっていきます。あわせて別組織で集出荷のみ行っていた三河梨集荷センターとの運営を統合し、事業の集約化を図っています。

「西尾梨」を生産するJA西三河梨部会は、西尾市内の西尾市梨業組合と吉良町梨業組合が合併して2014年3月に発足。部会員67人・作付面積18㌥で「幸水」「豊水」「新高」「あきづき」などを年間約120～150トンを生産し、主に県内へ出荷しています。

『西尾梨』の特徴って、なんだろう？



『西尾梨』のこだわりは、こちら！！



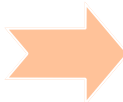
🌿「有袋栽培」

産地全体で有袋栽培を行っているのは、
西三河地域ではここ西尾市だけ！！
梨ひとつひとつに袋がけを行い、収穫まで大切に育てています。



袋の中で大切に育てることによって、以下の効果があります。

- ① 果皮の仕上げを美しくする
- ② 病害虫の被害を防ぐ
- ③ 農薬使用量・回数を抑える



外観のよい
おいしい梨に育ちます！

🌿「交信かく乱剤」による環境に優しい梨づくり

害虫のナシヒメシンクイの繁殖を抑制するため、交信かく乱剤「コンフューザーN」を利用した防除作業により、化学合成農薬の使用回数を減らした環境にやさしい梨づくりに取り組んでいます。

今が食べ頃！
《西尾梨の旬情報》

「幸水」 7月下旬～8月中旬



市内生産量の半数以上を占める人気品種！
やわらかい果肉で果汁もたっぷり。

「豊水」 8月下旬～9月中旬



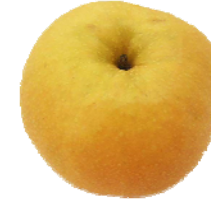
果肉がやわらかく、みずみずしい豊水！
口の中に広がるさわやかな酸味と甘みを楽しんで。

「あきづき」 9月中旬～9月下旬



シャリッと食感とみずみずしさの絶妙なバランス！酸味は控えめ、上品な香りと甘みが特徴。

「新高」 9月下旬～10月上旬



多汁でやわらかく、口の中に広がる優しい甘みを感じて。
涼しい所で保存すれば、1カ月の長期保存も◎

地元で採れたみずみずしい梨を食べて、地域農業を応援しましょう！！